



芝小だより

1 月号

発行所 港区立芝小学校

〒105-0014

港区芝 2-21-3

[TEL:03-3456-3072](tel:03-3456-3072)

[FAX:03-3456-3071](tel:03-3456-3071)

「一歩前へ」

校長 川原 哲郎

新年明けましておめでとうございます。令和4年、2022年が始まりました。新しい年を御家族で穏やかに迎えられたことと思います。昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をとりつつ、保護者の皆様、地域の皆様に御協力をいただき、子供たちの思い出に残る行事等を行うことができました。ありがとうございました。今年も、感染防止対策は続きますが、笑顔あふれる年にしたいと思います。どうぞよろしくをお願いいたします。

さて、7月下旬から行われていた校庭の人工芝化の工事が終わり、昨年12月15日に「校庭お披露目会」が行われました。この日から校庭に、子供たちの歓声と笑顔が戻ってきました。子供たちが元気に遊んでいる姿を見ると、本当に嬉しくなります。鬼ごっこなどで走り回っている子、校庭に描かれている円を土俵代わりに相撲をしている子、逆立ちや前転などをしている子、寝そべっている子など様々です。人工芝は、「転んでもあまり痛くない」「きもちいい」という声が、子供たちから聞こえてきます。昨年10月に、港区教育委員会が保護者の方を対象に「コロナ禍の子供たちの生活に関する実態調査」のアンケートを実施しました。その結果を見てみると、「お子さまの体力が低下したと覚えることはありますか」という質問に対し「低下した」という回答が52%でした。その他にも「友達とかかわる時間はどのように変化しましたか」という質問では、72%が「減った」と回答し、「家の外で遊ぶ時間はどのように変化しましたか」という質問でも、68%が減ったという回答でした。改めて、学校で友達と元気に外で遊べる休み時間は、子供たちにとって貴重な時間だと感じました。



この校庭は、現在の校舎ができた時からありますが、そこには当時のPTAや同窓会、地元町会の方々の、「芝小の子供たちのために」という熱い思いがありました。昭和48年、旧校舎の南側に高層ビル建築の話があり、「芝小学校の環境を守ろう」と当時のPTA、幼稚園母の会、地元町会、同窓会などが「芝小学校教育環境対策協議会」を結成しました。この協議会が、港区や東京都に働きかけ、昭和57年港区は長谷川工務店（現在の長谷工）と現在の校庭部分を芝小学校教育専用運動場として永久無償使用の貸借契約を締結することになりました。校庭の歴史に触れただけでも、芝小が地域の中の学校として、大切にされてきたことがよく分かります。新しくなった校庭を効果的に活用し、休み時間だけでなく体育の授業でもしっかりからだを動かす時間を確保し、子供たちの体力向上を図り、心身ともに元気な子を育てていきたいと思います。

今年は寅年。寅年は、春が来て根や茎が生じて成長する時期、草木が伸び始める状態だとされています。今年も芝小は、子供たち一人一人が何事にもチャレンジし、自分の成長を実感できる場所となるよう、教職員一同努力してまいります。「一歩前へ」学校としても向上心をもちしっかり前を見て取り組んでいきたいと思っています。ますますの御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

5年2組担任及び算数少人数担当教員について

5年2組担任として、算数少人数担当教員をしていた 内田 愛主任教諭が12月上旬から入ることになりました。そして新たに、算数少人数担当教員として 大山 慶祐教諭 が着任いたしました。